

# 発見！ まらのプロフェッショナル

せいめいかんどうじょう  
＜清明館道場＞

大井警察の通りに面した清明館道場。毎週木曜日には範士に稽古をつけてもらうために遠方からも多くの剣士が集います。

最高位の範士8段を有する西川先生を迎えた道場には、いつも以上に緊張感が漂います。全日本剣道選手権大会で日本一に輝くこと3回。出場記録も最多だそうです。

警視庁に勤務されていた範士は現在62才。180cmを超える長身の背筋は常にピシッと伸びて



います。

お父様に影響を受け、剣道を始めたのは10才、小学4年生の時とのこと。

子どもたちに剣道を通して一つのことに打ち込むことで得られる達成感を感じて欲しい、そして自分への自信を見出して欲しいというのが範士の願いです。

座右の銘は「克己心」。一見厳格で近寄りたがたい範士ですが、稽古の後はいつも子どもたちに気軽に声をかけてくださいます。

## ＜清明館道場＞

品川区大井 5-1-28

TEL : 03-5742-2151

稽古日：月曜日・火曜日・木曜日

時間：子ども 18:20~19:20

一般 19:30~20:30



【名取】

笑顔にこぼれ、のどかなイラストですね！いろいろな動物が描かれていて、とてもぎやかです！顔の表情は皆よく描けているので、次は人や動物の体をよく観察しながら描いてみましょう！



『えがおイラスト』

山中小 一年 たぬき



いいじ：今日、テレビ番組で健康に食べ物を紹介してたよ。  
まご：へえ、どんな食べ物？  
いいじ：ほら、アしにアしを入れるといいんだって。  
まご：アしにアしって何？  
いいじ：えっ？ アしっていったらアしに決まってるだろ！  
まご：？？？  
いいじ：まったく、おまえは一から十まで説明しないとわからないんだから！  
まご：……  
いいじ：健康にいい食べ物っていったい何だったのかな？ 孫だっけってこころ疲れるんですよ、おじいちゃん(笑)

【五十嵐・角矢・檜山】

さて、次の方は滝王子町会会長の山田勝弘さんをご紹介いただきます。【小原・中原】



87歳の保浦さん、大井倉田町会の会長は5年目。平成12年に国勢調査を手伝ったのをきっかけに、大井地区町会連合会など多くの地域活動に携わっておられます。定年後にパソコンを独学で習得し、町会の旅行のしおり、町会だよりなどを手作りされています。大井倉田町会のマークも保浦さんのデザインです。

旅行が好きで、行った国は30カ国以上。旅の思い出や写真をまとめた旅行史をパソコンでつくるのも楽しみの一つだそうです。趣味のお話の他、戦時中、疎開先で鉄砲の弾作りをされていたという貴重なお話をうかがうこともできました。



保浦 英雄 さん

わ! しながわ 2回 地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介していただき「地域の輪」をつなげていきます。

# 知ってみ隊が行く!!

拡張されたしながわ中央公園を知ってみたい!

土地の高低差を利用した地下階の大きな備蓄倉庫です。ここには避難所である近隣の小中学校の補給分として1万9千食もの食料や、毛布などの防災時に必要な物資が収められています。また公園の下は防火貯水槽になっていて百トンの貯水槽が2基埋設されています。



品川区の中心となるこの地にヘリポートがあることで、災害時、多くの住民の方々が避難している各小中学校への物資の搬入やドクターヘリによる緊急患者の遠地への搬送などに大いに活躍してくれそうです。



また、ヘリポートの端に消火栓が2つあり、スタンドパイプを差し込むことで、実際に放水訓練、消火作業が行えます。

Q. 防災設備はどのようなものがあるのですか？

A. 一番はヘリポートですね。その他には、備蓄倉庫、そして貯水槽、防災機能を有する遊具やパーゴラなどがあります。

Q. 拡張部分を防災公園とした経緯は？

A. しながわ中央公園のそばのJTAパーク跡地が取得できたため、木造住宅密集地域に隣接するこの地を、ヘリポートを備えた、防災時の拠点となる公園にしようということになりました。

東京に住む私たちにとって、災害時どのように行動するべきか、心配は尽きません。しかし現実には、大きな自然災害は身近に起こっていることを考えると、このしながわ中央公園のような大きな土地があり、ヘリポートや備蓄倉庫など備える施設があるということ、は、一つの安心につながるのではないのでしょうか？ 皆さんも一度実際に足を運んで、品川区の防災の取り組みを身近に感じてくださいな。

【飯田・大貫・高木・名取】

A. あくまでもここは災害時の拠点として使用するもので、避難所は今まで通り、近隣の小中学校となります。災害がひと段落した状態で住居を失った方が多数いる場合は、ヘリポートのある広い土地に仮設住宅を建てることも想定されています。

Q. 私たちは大きな避難所としてこの公園を利用すると思っていたのですが、違うのですか？

A. ……



パーゴラが救護室に!



遊具がこんなに大変身するなんて、(◎◎)ノ!

《防災機能を有する遊具やパーゴラ》  
通常時は子どもが遊ぶ大きな遊具ですが、その一部に大きなシートが格納されていて、災害時にはシートを遊具に取り付けることにより、一時的な休憩場所や物資の集積場所として使用することができます。シートを設置方法は遊具に説明板があるので簡単に装着可能です。また通常は休憩場所であるパーゴラ(東屋)も周りにシートを張り、ベンチをベッドとして使用することで災害時の救護室として機能させるなど、多目的な活用が可能です。